

平成29年4月から生活支援コーディネーターを配置しました

★介護保険制度改正により、生活支援サービスの拡充を図るため、真狩村が、真狩村社会福祉協議会に委託をして配置をしています。

★関係者のネットワークや既存の取組み・組織等と協力をしながら、地域における生活支援・介護予防サービスの拡大・充実に取り組みます。

★ニーズに対して不足する資源に関しては、真狩村が設置する協議体で協議し、サービスの創設や人材の育成に努めます。

『支えあいの地域づくり』

に向けて行政や地域の多様な活動団体等と協議して進めていきます。

★高齢になると

- ・ 買い物
- ・ 掃除
- ・ ゴミ出し
- ・ 電球の交換

ちょっとしたことが・・・
困難になり、生活に支障をきたすことがでてきます。



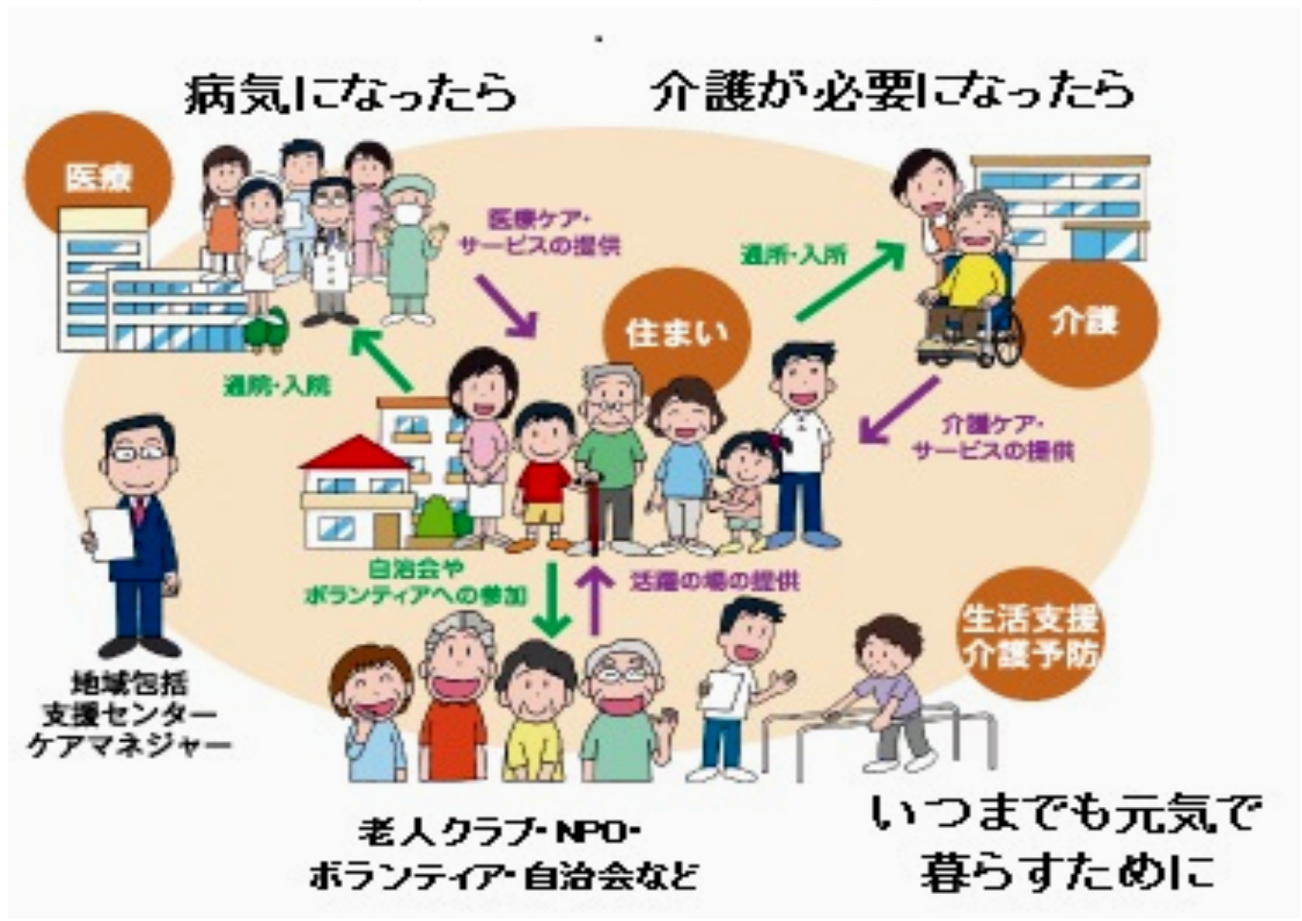
外出がおっくうになり、
困りごとの相談もせず、
地域から孤立した生活を送りがちになります。

真狩村の未来は・・・

これからは隣近所や、町内会、顔なじみの関係の中で助け合いが必要となってきます。そのためには真狩村の地域福祉を真狩村の皆さんと共に整備をしていく必要があります。

例えば、真狩の皆さんが生活していく中で誰かの助けを必要とするのはどんなことなのか？それを行うためにはどんな調整が必要なのか？それを手伝って下さるボランティアの方はいるのか？そんなことを今後皆さんと共に考えたり、新しく創りあげたりしていく働きになります。

また、そのための話し合いの場として『協議体』というものも既に真狩村につくられています。協議体には村内の各組織や団体が入っており、必要な支援を協議体で具体的に話し合っていく場となります。



いつまでも元気で暮らすために